

平成30年度における指定管理者の評価結果 目次

施設名	ページ
17 山口市宮野地域交流ステーション	
事務事業評価表	1
モニタリング評価表	2
18 山口市大歳地域交流ステーション	
事務事業評価表	3
モニタリング評価表	4
19 山口市島地温泉ふれあいセンター	
事務事業評価表	5
モニタリング評価表	6
20 道の駅あいお	
事務事業評価表	7
モニタリング評価表	8
21 山口市阿知須健康福祉センター	
事務事業評価表	9
モニタリング評価表	10
22 道の駅「きらら あじす」	
事務事業評価表	11
モニタリング評価表	12
23 山口市上村高齢者女性等活動促進センター	
事務事業評価表	13
モニタリング評価表	14
24 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター	
事務事業評価表	15
モニタリング評価表	16
25 山口市柚野地域活性化センター	
事務事業評価表	17
モニタリング評価表	18
26 山口市徳地三谷交流センター	
事務事業評価表	19
モニタリング評価表	20
27 山口市徳地高齢者・若者活性化センター	
事務事業評価表	21
モニタリング評価表	22
28 山口市柚野農産加工販売所	
事務事業評価表	23
モニタリング評価表	24
29 山口市徳地新規就農者技術習得施設	
事務事業評価表	25
モニタリング評価表	26
30 阿東ふるさと交流促進センター	
事務事業評価表	27
モニタリング評価表	28

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市宮野地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか) ・市民 ・宮野地区住民 ・県立大学学生、教職員 ・地域交流ステーション施設		手段(事務事業の内容、やり方、手順) 宮野地域交流ステーションの管理運営業務を指定管理者に委託します。 指定管理期間 平成28年度～令和2年度 指定管理者 宮野自治連合会 開館時間 午前8時30分～午後10時 開館日 原則毎日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 県立大学学生や地区住民が、宮野地域交流ステーションを活用することでコミュニティが形成され、宮野駅周辺の風紀、環境が保たれます。また、様々な主体が、それぞれの役割を認識し、協働のまちづくりが行われます。宮野地域交流ステーションを適正に管理します。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	宮野地区にある高等教育機関である大学と市民とが積極的に交流できる場を確保し、大学の持つ専門的な知識と住民の生活の知恵等を活かし、魅力あるまちづくりの推進のため施設を設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		平成29年度と比較すると、定期利用団体の入れ替わりにより貸館事業における利用者数が減少しているが、自主事業における参加者数は増加しており、今後も地域におけるコミュニティ活動の推進の場として一定の役割を果たすものと考えます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元の地域づくり団体である宮野自治連合会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市宮野地域交流ステーション 指定管理者: 宮野自治連合会

指定期間: 平成28年度～令和2年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務 ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督 ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修 ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携 ・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
		接客対応 ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用 ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護 ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策 ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理 ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆		4
		改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	4	55
審査結果	前年度と比較すると、施設利用者が629人減少しています。主な要因としては、前年度利用者数に臨時で開催された山口線開通100周年記念イベントの参加者が含まれること、定期利用団体の入れ替わりにより貸館事業の利用者数が減少したためである。自主事業として実施している県立大生との共同企画「着物喫茶」や「まちあるき」への参加者は増加傾向にあることから、次年度以降も引き続き利用者数は順調に推移すると考えられる。 さらに、施設利用者の拡大に向け、駅利用者や受験生へ活動の周知を図られるなど、施設の設置目的や性質を十分に把握した活動が行われており、今後も引き続き大学と市民との交流の場が提供できることが見込まれます。		年度評価					A
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	-
総評		A	A	A				

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市大歳地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・大歳地域住民 ・大歳地域交流ステーション施設		大歳地域交流ステーションの管理運営業務を指定管理者に委託します。 指定管理期間 平成29年度～令和3年度 指定管理者 大歳自治振興会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 月曜日、年末年始	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域住民が、大歳地域交流ステーションを活用することでコミュニティが形成され、大歳駅周辺の風紀、環境が保たれます。また、様々な主体が、それぞれの役割を認識し、協働のまちづくりが行われます。 大歳地域交流ステーションを適正に管理します。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	平成23年に開催された国民体育大会の来場者をおもてなしするための施設として、JR大歳駅舎を整備・活用し、国体終了後は地域づくりやコミュニティ活動を中心とした「まちづくり」をするための施設として設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	平成29年度と比較すると利用者数が増加しており、今後も地域におけるコミュニティ活動の推進の場として一定の役割を果たすものと考えます。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができますが、施設の現状では難しいと考えます。
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元の地域づくり団体である大歳自治振興会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市大蔵地域交流ステーション 指定管理者: 大蔵自治振興会

指定期間: 平成29年度～令和3年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
	地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動				☆		4
	利用者満足度	サービス向上				☆		4
		自主事業				☆		4
		改善運動			☆			3
経営状況	収支計画との整合性				☆		3	
	安定経営				☆		3	
	経理状況				☆		3	
評点合計			標準		51	加算	4	55
審査結果	前年度と比較すると、施設利用者が220人増加しています。主な増加要因としては、恒例となった交流列車おとしまつりの開催や、他のイベントへの積極的な参加、運営努力等が考えられ、「地域住民の交流の場の提供」という施設の設置目的を達成していると判断できます。						年度評価	<b>A</b>
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	-
総評		A	A					

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市島地温泉ふれあいセンター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・島地地区住民 ・島地温泉ふれあいセンター		島地温泉ふれあいセンターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営が行われました。 指定管理期間 平成26年度～平成30年度 指定管理者 島地温泉ふれあいセンター運営協議会 開館時間 午前10時～午後8時 休館日 原則水曜日、年末年始	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地元住民で構成される団体が指定管理者として運営を行うことで、住民主体の地域コミュニティが確立され、交流の場として利用されています。 また、温泉施設、朝市、飲食・販売スペースともに市内外の利用者も増え、観光施設としても認知されています。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	徳地地域の旧村5地区(出雲・八坂・柚野・島地・串)において、交通・福祉・教育・産業等の拠点となる拠点施設を整備し、地域コミュニティの活性化と地域社会システムの再構築を図ります。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	利用者数は順調に推移しており、今後も地域コミュニティの活動拠点としての役割を果たすものと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	当該地域における類似の事業はありません。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	指定管理者の努力による利用者増や、自主事業により利益を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など  地元団体である島地温泉ふれあいセンター運営協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市島地温泉ふれあいセンター 指定管理者: 島地温泉ふれあいセンター運営協議会

指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に巡回して清掃を行い、点検については業者に委託し適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託業者に対して、適正な監督がなされている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模、利用状況に即した人員配置とともに、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等、安定した施設管理運営に向けた職員間の共通認識を図る取り組みがなされている。			☆			3
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域団体の委員で構成されており、地域との連携が図られている。また、地元の子どもたちを対象にした無料体験学習の実施や、地域住民と連携した朝市を開催する等、地域の交流の場づくりに努めている。				☆		4
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情を受けた際は、内容や対応について報告書をまとめ、職員内で情報を共有できるようにしている他、市に対しても迅速な報告を行っている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報に関する関係書類を鍵のかかるロッカーに保管し、適切に管理している。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全確保のため、定期的に施設内を巡回し、事故の事前防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	チェックシートの作成、1時間ごとに施設を巡視、緊急連絡網の作成を行うなど適切な危機管理体制づくりに努めている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	地域のイベントに参加することと合わせ、マスメディア、関係団体のチラシ等を活用し、広報活動を積極的に行っている。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	温泉利用者や朝市参加者にアンケートを募り、ニーズ把握やサービス向上に尽力している。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	朝市の開催等、地域活性化・地域の交流拠点という目的に沿った自主事業を実施している。				☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	温泉利用者へのアンケートや意見箱を設置するなど、利用者の意見を積極的に収集し、管理運営に反映している。				☆		4
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	年度当初に提出された収支予算書に基づき、支出等が適切に行われている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	指定管理料と施設利用収入によって適切に運営を行っている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月利用者数の報告及び収支の報告があり、経理事務は適正に処理されている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	5		56	
審査結果	リピーターを中心に施設の利用者数は順調に推移しています。 自主事業の拡充や各種イベントへの積極的な参加、マスメディアを活用した地域内外の幅広い世代に対する広報活動を展開されており、引き続き安定した利用者数が見込まれます。 また、温泉を活用した地域間交流や産業の拠点として、今後更なる活躍が期待されます。			年度評価		A				
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
総評				A	A	A	A	A	総合評価	良好
島地温泉ふれあいセンター運営協議会は、会員100名を越す地元に着した組織で、地域の小中学校等と連携した取組みをしたり、定期的にイベントを開催するなど、積極的に地域と交流し、利用者の拡大にも取り組んでいます。 その結果、リピーターを中心に利用者数は順調に推移し、収支面も安定しており、指定管理期間の5年間で良好に管理運営されてきたものと評価します。				総合評価		良好				

## 事務事業評価報告書

施設名：道の駅あいお

担当部 秋穂総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家をはじめとした地場産業者 道の駅あいお 利用者		【施設概要】道の駅あいお ・平成7年1月オープン ・直売所、飲食提供施設、情報発信コーナー 【管理内容】 ・休館日は毎月第2、第4水曜日及び12月31日から1月3日です。 ・指定管理者へ管理運営業務を委任しました。 ・指定管理者へ助言指導を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		【指定管理者が実施する主な業務】	
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が道の駅を訪れるようになります。 道の駅あいおの売り場が地元特産品で埋め尽くされます。 地域内外から多くの人が道の駅を訪れるようになります。		・地域農産物、特産品等の販売実施に関するを行いました。 ・都市・農村交流、地域情報発信、イベント等を行いました。 ・南部地域特産品開発会議に参加し、特産品開発に積極的に関わりました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	農産物等の販売、都市と農村との交流により、地域の振興を図るために設置されました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	近隣の農産物・特産品直売所等の類似施設の増加により、農産物売上高は減少傾向にありますが、来場者数は増加しています。農産物を使用した特産品の開発・販売・地域情報の発信やイベントの工夫などにより、成果向上の余地はあると考えています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した運営が行われており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	コストを削減する新たな方法はありますが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<改革概要> 維持管理費用を抑えた中で、順調に成果をあげていることから、現在の状態を維持していくことが必要です。			
<指定管理者の評価> 道の駅あいおの指定管理者である秋穂産業振興協会は、限られた施設容量の中で、地域や関係団体と連携することで、道の駅あいおの設置効果を最大限に発揮し、地域振興に貢献しています。			



『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 道の駅あいお

指定管理者: 秋穂産業振興協会

指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	テナント料は現金徴収され、未徴収の事例は該当年度はなかった。夜間は機械警備が導入され、カギは職員により適切に管理されている。不具合の箇所は修繕が行われている。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員による日常清掃、偶数月の業者による清掃、年末清掃の他、各種法定点検など、適切に行われている。備品は台帳を作成し、適正に管理されている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	適切に監督されている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	シフトが組まれ、適切な人員配置が行われている。職員研修、視察研修の他、山口県央商工会の各種研修会に参加している。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	清掃活動への参加や、お大師参り・えび供養祭・花火大会など地域の行事や、南部特産品開発会議への参加など、地元団体との連携がなされている。また、地元中学生の職場体験の受け入れなど、地域社会づくりに貢献している。				☆		4
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情等については迅速に対処されている。施設利用者への各種案内等の業務は適切に対応されている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するため、労働法規等を遵守した適切な勤務態勢がとられているか。 ・休暇制度、職場環境の改善、福利厚生制	労働保険等に加え、勤務時間についても問題なくシフトが組まれており、有給休暇制度などの福利厚生制度が整えられている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報に関する書類等は、指定管理事務局の鍵付き書庫で保管され、適切に管理されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全確保のため、施設内外の整理整頓が行われている。花を通路脇に置くことにより、店舗への進入方向を制限するなど工夫が見られる。			☆			3
危機管理		・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	機械警備を導入している。連絡網を作成し、緊急連絡先を整理するなど、消防署の指摘に従い適切な管理体制がとられている。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	テレビ等のメディアを活用し、地元特産品について効果的な広報が行われている。南部特産品開発会議から誕生した新商品発表会会場となるなど、マスコミへの認知度も高まっている。				☆		4
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者が快適に利用できるよう、施設の保守管理や職員研修が行われている。新商品や地域のブランド野菜のPR、販売されている地場特産品のレシピを配布するなど工夫が見られる。			☆			3
	利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	お大師参りなど地域のイベントと連携した催し、「ぐるっと山口道の駅特産市」への参加、道の駅まつりの実施など利用者ニーズを把握しながら自主事業を行っている。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	利用者アンケートを実施し、利用者の意見や要望を把握し、サービス向上や利用促進を図っている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	道の駅まつりの開催、「ぐるっと山口道の駅特産市」への参加、南部特産品開発会議で開発された地場特産品の販売など、積極的に取り組んでいる。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	特産品の販売が好調であり、当初収支計画を上回っている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	南部特産品開発会議で地元特産品が開発され、売り場に並び始めたことにより、利用者数・売上高ともに上昇傾向にあり、概ね安定的な運営がなされている。			☆			3
		経理状況	・月別報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されている。			☆			3
評点合計			標準		57	加算	2		59	
審査結果	秋穂産業振興協会は、道の駅あいおの限られた施設容量の中で、管理経費を抑え、手堅い運営を行っている。またお大師参りをはじめとした地域行事や南部地域特産品開発会議への参加など、積極的に地域との関わりを持たれている。		年度評価			A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		A	A	A	A	A				
総評	秋穂産業振興協会は、道の駅あいおの限られた施設容量の中で、管理経費を抑え、手堅い運営を行った。お大師参りをはじめとした地域のイベントと連携し、地域とかわりを持たれている。また南部特産品開発会議に参加し、地元特産品の開発・販売に取り組み、売上金額・客数ともに平成29、30年度は前年度を上回っている。今後とも、秋穂地域の拠点施設として、特産品の販売に積極的に取り組まれるとともに、地域情報の発信に努めてください。		総合評価			良好				

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市阿知須健康福祉センター

担当部 阿知須総合支所

担当課 総合サービス課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
阿知須健康福祉センター 市民		阿知須健康福祉センターの管理運営を指定管理により行いました。 1. 施設概要 自発的な健康づくり活動、健やかに笑顔で暮らせるまちづくりの推進のため、平成15年開設 2. 開設時間 午前9時から午後5時まで 3. 主な利用者 健康福祉推進活動団体、個人 4. サービス内容 3の個人・団体が活動を行うための施設(多目的スタジオ、高齢者娯楽室等)の利用許可や指定管理者による自主事業(おげんきかん祭り、災害救済ボランティア活動研修会、高齢者対象の健康増進・交流促進事業など各種福祉事業)の開催	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
健康福祉センターを活用することで、市民の交流促進、健康増進、地域福祉の充実を図ります。			
総合計画体系	政策	子育て・健康福祉	
	施策	地域福祉の充実	
	基本事業	施策の総合推進	
事業開始背景等		すべての市民が安全で健康な生活を送ることができ、自発的な健康づくり活動を推進するとともに、健やかに笑顔で暮らせるまちづくりの推進を図るため、当センターを設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		今後住民ニーズに応じた自主事業や施設の貸し出しを行うことで、より一層の成果向上が見込めます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし			
効率性	類似事業との再編成		地域福祉活動及び住民の自主的な健康増進活動は他事業等でも実施していますが、当センターは、特に阿知須地域の活動における重要な拠点として機能しています。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者へのモニタリングにより、概ね適正に管理運営されていると認められます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>山口市阿知須健康福祉センターは、事業計画書、協定書及び年度協定書に基づき適正に管理運営されており、利用者等のニーズの把握や、地域活動への積極的参加、年間利用者の利用日程調整等、地域密着型の運営がされており、利用者への配慮も行き届いていると認められます。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市阿知須健康福祉センター

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目			評価コメント	評価					評点	
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	利用許可は、年間定期利用を前年度中に日程調整され、利用者への配慮に努められていた。利用希望者に対しては、申請前に十分に施設の目的や利用できる要件等を説明されていることから、不許可決定された案件も無く、苦情も無かった。昨年度の利用者アンケートにあった机の故障の改修(軽微な修理)については、修理されており改善されていた。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目、頻度を遵守し、清掃、保守点検が実施されており、施設の維持管理が十分に引き届いていた。備品は、適正に管理されていた。				☆		4
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模等に即した適正な人員配置がなされていた。年2回、消防計画に基づく防火訓練を実施されていた。職員は既にAEDを使用した救急救命講習が行われており、有事の際の安全性確保のための取組みがなされていた。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地区で活動している様々な福祉団体と緊密に連携し、地域密着性を重視した運営がなされており、関係団体や住民との連携が図られていた。				☆		4
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	各再委託業務の作業スケジュール等が適切に管理されており、作業後の検査も職員が行うなど、適正な監督が実施されていた。			☆			3
		接客対応	・事故・苦情に対する対応は適切であったか。	夏に空調設備が壊れたこと以外は苦情はなかった。山口市社会福祉協議会が作成している「苦情対応マニュアル」により、苦情に対応する体制が整えられていた。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	職員が施設の設置目的を理解され、利用希望者へ適切に説明できる体制にあった。また、年間利用者と新規利用希望者との日程調整をされるなど、市民の平等利用に関する姿勢は適正であった。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適正な管理に努められていた。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	不要な物品等の放置もなく、施設内外が整理整頓されており、日常から安全対策に努められていた。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	消防訓練を年2回実施するとともに安全確保のための技能の習得、必要な研修が実施されていた。施設は、警備会社に管理を委託されており、各部屋にセンサーが設置されるなど、必要な防犯体制が講じられていた。また、職員の緊急連絡網を備え、危機管理体制を整えられていた。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用者満足度	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	「市社協だより」、「地域交流センターだより」、行事予定表等を通じて、利用拡大のための広報に努められていた。			☆		3
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	施設運営や自主事業に対するニーズの把握のため、施設利用者に対しては利用者アンケートを実施され、自主事業の「おげんきかん祭り」開催時には参加者へのアンケートを実施されており、魅力的な自主事業やサービス向上等に努められていた。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	自主事業であるおげんきかん祭りについては、開催時に参加者に対してアンケートを実施されており、参加者のニーズの把握に努められていた。また、災害救済ボランティア活動研修会、高齢者対象の健康増進・交流促進事業など各種福祉事業についても、利用者のニーズに即して事業が実施されていた。				☆		4
		意見反映	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	施設利用者に対しては利用者アンケートを実施。また、おげんきかん祭り開催時には参加者等へアンケートを実施され、翌年度のイベント決定の参考にするなど、利用者ニーズの把握に努められていた。			☆			4
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	施設の貸館については、全額減免対象の利用者が大半を占めているが、一般利用者の貸館にも努められていた。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	事業計画及び実績報告を照合した結果、整合していた。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	事業計画等に基づき計画的な施設管理運営がなされ、また、適正な人員確保も図られており、安定的な運営が行われていた。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	利用者数の報告及び経理事務は、適正に処理されていた。			☆			3
評点合計				標準		54	加算	4	58	
審査結果	山口市阿知須健康福祉センターは、設備点検や清掃・軽微な修繕等を堅実に実施し、施設の適正な管理運営をされている。また、利用者へ利用拡大や利用促進のため、自主事業(おげんきかん祭り)を開催されている。利用者のニーズの把握に努め、適切な管理運営が行われている。			年度評価			A			
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好
				A	A	A	A	A		
総評	山口市阿知須健康福祉センターは、事業計画書、基本協定書及び年度協定書に基づき、適正に施設管理がされている。また、利用者のニーズに即した自主事業が実施されており、阿知須地域の地域福祉と住民の交流促進及び健康増進に貢献している。			総合評価			良好			

## 事務事業評価報告書

施設名:道の駅「きらら あじす」

担当部 阿知須総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 道の駅 きらら あじす 利用者		【施設概要】道の駅きらら あじす ・平成17年3月オープン ・直売所、飲食提供施設、特産品加工施設、情報発信コーナー等 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委託し助言指導を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の販売実施に関することを行いました。 ・都市・農村交流、地域情報発信、イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が道の駅を訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	農林業の振興	
	基本事業	活力ある農山村づくり	
事業開始背景等	農業の振興、都市と農村との交流のために農産物等を販売する施設として整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。指定管理者である阿知須まち開発(株)は、市が700万円を出資、出資比率は60.9%の第3セクターです。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	平成30年度は、きらら博記念公園において、山口ゆめ花博が開催されたことから、前年度と比較して来場者数は大幅に増加しました。今後もきらら博記念公園と連携した取り組みとあわせ、日常の来場者増加に向けた取り組みを強化します。 農産物販売額については、出荷者の高齢化など厳しい状況にありますが、イベントの開催や農産物を使用した特産品の開発・販売により、成果向上の余地はあると考えています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着目した管理運営を行っており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。	
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<改革概要> 地域の拠点施設として、順調に成果をあげており、効果を維持しつつ維持管理経費が最小限となるよう努めます。			
<指定管理者の評価> 道の駅「きらら あじす」の指定管理者である阿知須まち開発(株)は、施設の維持管理、情報案内業務等、指定管理者としての業務を適切に実施しているとともに、施設の設置目的に沿った自主事業を積極的に行っており、地元農家の所得向上をはじめ、地域振興に貢献しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:道の駅「きらら あじす」

指定管理者:阿知須まち開発株式会社

指定期間:平成28年度～令和2年度

評価項目		評価コメント	評価					評点			
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)				
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、料金の徴収、鍵の施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	受付事務・料金徴収等は適正に行われている。利用許可については施設の設置目的に沿って判断されている。夜間は機械警備が導入され、鍵は職員により適切に管理されている。不具合の箇所は迅速に修繕が行われている。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	毎日複数回の日常清掃、年4回の定期メンテナンスのほか、施設内の芝刈りや樹木の剪定、各種法定点検など維持管理業務は適切に行われている。また、備品は固定資産台帳を作成し管理されている。			☆			3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	委託業務はレストラン、清掃、設備点検である。業務終了後は報告書等により検査を実施するなど、職員による監督が適切に行われている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	社員は2交代のシフト勤務体制をとり、閉館時間中は職員が不在にならない配置がなされている。また、接客研修やAED取扱講習など、業務にかかわる研修が定期的に行われている。			☆			3	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	特産品のくりまさるを使用した商品の開発や地元民芸品の展示など、地元団体と連携して行っている。また、大学生のインターシップ受け入れや地元中学生の総合学習の場として施設を提供されている。その他に、商工会との連携により、月1回既存商店街に出店するなど地域社会づくりに貢献されている。				☆		4	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	山口ゆめ花博開催期間中は大変混雑したが、利用者からの苦情は1件であった。苦情に対してはただちに駅長に報告され迅速に対処されている。施設利用者に対する各種案内業務は適切に行われている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するため、労働法規等を遵守した適切な勤務態勢がとられているか。 ・休暇制度、職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がされているか。	就労規則や労働関係法令を遵守され、従業員が働きやすい環境づくりに積極的に取り組まれている。また、季節ごとの特別休暇やパートも含めたすべての社員が健康診断を受診するなど福利厚生制度が整っている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	受付事務等、個人情報に関することは事務室で行われている。利用者や社員の個人情報は事務所内の鍵付書庫で保管し、職員不在時には施錠するなど、適切に管理されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	社員や出荷者に対し通路に通行の障害となるものは置かないよう周知徹底されており、避難経路に障害物は無い。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	事故や災害等の緊急時の連絡網が整備されている。また、駅長による日々の見回りや年2回火災を想定した避難訓練を実施するなど安全対策に取り組まれている。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設内のスペースを活用し、道の駅だけでなく周辺地域の情報も充実させて発信されている。また、ホームページをより見やすく、わかりやすいデザインにリニューアルされている。			☆			3
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	各種イベントの開催など利用者のニーズを取り入れた管理運営が行われている。また、外国人旅行者を対象とした、消費税が免除される免税販売システムや無料で利用できる公衆無線LANが整備されている。			☆			3
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	道の駅を集出荷拠点として、市内の量販店と農業者をつなぐ、地域内流通システムの実証運用に取り組まれている。				☆		4
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	施設利用者に対しては利用者アンケートを行い、利用者ニーズの把握に努められている。なお、利用者の意見は社員で共有し改善に向けた取り組みがなされている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	地元の農水産物を活用した付加価値の高い商品が販売されている。また、農産物の品切れ対策のほか、売れ筋商品の研究や既存商品の改良など、収入増加に取り組まれている。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	概ね整合している。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	山口ゆめ花博が開催されたことで、売上額、純利益ともに前年度より増加しており、概ね安定的な経営がなされている。			☆			3	
		経理状況	・月別報告など、経理事務は適正に処理されたか。	振替伝票と会計ソフトを利用し経理事務が適正に処理されている。			☆			3	
評点合計						標準	57	加算	2	59	
審査結果	道の駅「きらら あじす」設置当初からの指定管理者である阿知須まち開発株式会社は、地域の状況等を深く理解されており、地元経済団体との信頼関係が強く、地域や関係団体と連携した活動に取り組まれている。平成30年度においては、地元の農産物を活用した付加価値の高い商品の開発、地域内流通システムの実証運用に取り組まれたことから、地域連携及び自主事業の評価を優秀とした。なお、施設利用者数、売上額はともに前年比で増加しており、引き続き安定的な経営に努められている。			年度評価			A				
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価			
総評			A	A	A						-

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市上村高齢者女性等活動促進センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか) ・市民 ・上村住民 ・上村高齢者女性等活動促進センター		手段(事務事業の内容、やり方、手順) 上村高齢者女性等活動促進センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営が行われました。 指定管理期間 平成27年度～令和元年度 指定管理団体 上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地元住民で構成される団体が指定管理者として運営を行うことで、住民主体の地域コミュニティが確立され、年齢・性別にとらわれない活発な交流が行われています。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	合併時からの継続事業 徳地上村地域の高齢者及び女性の安定的で継続性の高い活動を基礎として地域の活性化を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者女性等活動促進センターを設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	有効性	成果状況 <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	人口減少や地理的要因により利用者数の大幅な増加は見込みませんが、今後も地域の高齢者及び女性の活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。
効率性	類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし	地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。	
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市上村高齢者女性等活動促進センター 指定管理者: 上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会 指定期間: 平成27年度～令和元年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	点検・検査業務など、再委託業者に対する監督は、適正に行われている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模、利用状況を考慮した人員配置がとられており、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等が行なわれている。			☆			3
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	指定管理者が、地域団体の委員で構成されており、地域との連携が図られている。				☆		4
		接客対応	・事故、苦情に対する対応は適切であったか。	事故・苦情はないが、報告があれば速やかに対応することとしている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	適正に管理・保管がされている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事前の事故防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	非常時の連絡網が整備されており、危機管理体制が整えられている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	地域の情報、施設からのお知らせを掲示板に掲載し、適切な情報提供を行っている。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者の意見を運営に反映させることにより、サービス向上に取り組んでいる。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	地域団体と連携した夏祭りの開催、いきいき100歳体操の実施等、地域の活性化という目的に沿った事業を実施している。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料や施設使用料の収入により、予算の範囲内で効率的に運営されている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	定期的な施設利用があり、安定的に運営が行われている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は、適切に処理されており、毎月の利用状況など担当部署へ適切に報告されている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	1	52		
審査結果	定期的な地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。			年度評価		A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		A	A	A	A					
総評	-			総合評価		-				

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・伊賀地住民 ・伊賀地高齢者女性等活動促進センター		伊賀地高齢者女性等活動促進センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営が行われました。 指定管理期間 平成27年度～令和元年度 指定管理団体 伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地元住民で構成される団体が指定管理者として運営を行うことで、住民主体の地域コミュニティが確立され、年齢・性別にとらわれない活発な交流が行われています。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等		合併時からの継続事業 徳地伊賀地地域の高齢者及び女性の安定的で継続性の高い活動を基礎として地域の活性化を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者女性等活動促進センターを設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		人口減少や地理的要因により利用者数の大幅な増加は見込めませんが、今後も地域の高齢者及び女性の活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			



『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター 指定管理者: 伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会 指定期間: 平成27年度～令和元年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正な利用許可がなされている。また、施設の施錠も徹底されており、適正な施設運営が行われている。利用の受付については、地元住民が利用申請をしやすいよう配慮されている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模、利用状況を考慮した人員配置がとられており、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等が行なわれている。			☆			3
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	指定管理者が地域団体の委員で構成されており、地域との連携が図られている。				☆		4
		接客対応	・事故、苦情に対する対応は適切であったか。	事故・苦情はないが、報告があれば速やかに対応することとしている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	適正に管理・保管がされている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事前の事故防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	非常時の対応や連絡網が整備されており、危機管理体制が整えられている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板に掲載し、適切な情報提供を行っている。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者の意見を運営に反映させることにより、サービス向上に取り組んでいる。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	地域団体と連携した夏祭りの開催、いきいき100歳体操の実施等、地域の活性化という目的に沿った事業を実施している。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料や施設使用料の収入により、予算の範囲内で効率的に運営されている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	定期的な施設利用があり、安定的に運営が行われている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適切に処理されており、毎月の利用状況など担当部署へ適切に報告されている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	1	52		
審査結果	定期的な地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。			年度評価		A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		A	A	A	A					
総評	-			総合評価		-				

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市柚野地域活性化センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・柚野住民 ・柚野地域活性化センター		柚野地域活性化センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営が行われました。 指定管理期間 平成27年度～令和元年度 指定管理者 柚野地域振興協議会 開館時間 午前8時30分から午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地元住民で構成される団体が指定管理者として運営を行うことで、住民主体の地域コミュニティが確立され、地域づくりの意見交換や交流の場として利用されています。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等		合併時からの継続事業 地域住民の主体的な取組を基礎として、地域の活性化及び自立を図り、地域の健全な発展に寄与するため、柚野地域活性化センターを設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		人口減少や地理的要因により利用者数は減少傾向にありますが、今後も地域の活性化を図るための活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで、指定管理料見直しを図ることができますが、現状では難しいと考えます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である柚野地域振興協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市柚野地域活性化センター 指定管理者: 柚野地域振興協議会

指定期間: 平成27年度～令和元年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正な利用許可がなされている。また、施設の施設も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に清掃を行っている。保守点検については業者に委託し、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	点検・検査業務など、再委託業者に対する監督は、適正に行われている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の規模、利用状況を考慮した人員配置がとられており、基本的な接遇、施設の設置目的に即した対応等が行なわれている。			☆			3
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	指定管理者が、地域団体の委員により構成されており、地域との連携が図られている。				☆		4
		接客対応	・事故、苦情に対する対応は適切であったか。	事故・苦情はないが、報告があれば速やかに対応することとしている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	事務室内の鍵のかかるロッカーにおいて、適正に管理・保管がされている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事前の事故防止に努めている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	隣接する加工所と協力して、消防署員立会の下避難訓練を実施するなど、非常時の対応や連絡体制がとられ、危機管理体制が整えられている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	地域の情報、施設からのお知らせ等を掲示板に掲載し、適切な情報提供を行っている。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者の意見を運営に反映させることにより、サービス向上に取り組んでいる。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	地域団体と連携した夏祭りの開催、いきいき100歳体操の実施等、地域の活性化という目的に沿った事業を実施している。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者の意見を聴取し、対応できる部分は速やかに対応している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料や施設使用料の収入により、予算の範囲内で効率的に運営されている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	定期的な施設利用があり、安定的に運営が行われている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適切に処理されており、毎月の利用状況など担当部署へ適切に報告されている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	1	52		
審査結果	定期的な地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。			年度評価		A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		A	A	A	A					
総評	-			総合評価		-				

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地三谷交流センター

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家及び住民 三谷交流センター利用者		【施設概要】 ・平成16年にオープンし、交流室、調理等体験交流室があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・都市住民との交流事業に関するを行いました。 ・地域の集落間の連携事業に関するを行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農家及び住民と都市住民との交流により地域が活性化します。 利用者の農業に対する理解が促進されます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	三谷地域は過疎化・高齢化が進行しており、都市農村交流の拠点として平成16年に整備しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	一年を通じた多彩なイベントの開催により、地域内外の交流拠点としての機能を果たしています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内に同様の施設がありますが、地域の振興の拠点として管理運営をしており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
維持管理費用を抑えただ中で、現在の状態を維持していくことが重要です。指定管理者である三谷地域づくり協議会は、三谷をよくする会主催の「歩こう会」等の取組みを継続していくことで、地域住民と都市住民との交流促進にも貢献していますが、地域の高齢化に伴い、施設管理主体となる新たな担い手の発掘が必要です。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：山口市徳地三谷交流センター

指定管理者：三谷地域づくり協議会

指定期間：平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント		評価					評点	
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の利用許可事務、修繕等、適正な施設の運営が行われた。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	定期的に清掃が行われており、使用しないときも2週間ごとに行われている。また、必要な点検は適正に行われている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	役員間で役割分担を行いながら、適正に事務処理が行われている。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	三谷いしがき棚田会による都市住民の農業体験など地域間での協働、連携が適切に行われている。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情はなかった。また、苦情があった際の体制も整備されている。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	従業員はいないが、通常の管理は地元住民がボランティアとして取り組んでいる。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	協定に基づき個人情報は、事務担当者が適切に保管されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	定期的な施設周辺の点検をしており、適切に対応されている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	非常時の連絡網も整備されており、適切な安全管理体制がとられている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	イベントのお知らせや活動について、JAの広報誌や農業新聞等の媒体を利用し広く周知を図っている。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	歩こう会等のイベントを行い、利用向上に向けた取組みがされている。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	都市・農村交流を積極的に行っており、利用者からも好評を得ている。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者の意見を反映され、運営が行われている。また地元利用者間で協議し、要望、改善などを図られている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	貸館を行うなど安定した自主財源の確保に努めている。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	施設管理のために適正な支出が行われており、収支状況も順調で、計画的に処理がされている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	安定的な運営がなされている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。			☆			3
評点合計				標準		54	加算		54	
審査結果	三谷地域づくり協議会は、基本的な施設の維持管理業務を適切に実施する一方、地域の取組みとして「ほたるまつり」、茶摘み、栗拾いなどの「農業体験」などを実施しており、内容の濃い農村生活体験を促進している。当該センターは、これらの都市農村交流イベントには必ず利用されている。 上記の活動により、地域コミュニティの衰退を防ぐことができ、地域内の連携が促進されるとともに、地域外へも三谷地域の魅力が発信され、農村の振興に貢献している。			年度評価		A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
総評		A	A	A	A	A	総合評価		良好	
指定期間を通じて、施設の清掃、保守点検などの施設の維持管理、貸館業務、危機管理業務は円滑に運営されており、施設管理業務は適正に実施されている。 地域の高齢化・過疎化が進行している状況で、今後も継続して都市・農村交流の取組みを実施、維持していくため、新たな担い手の発掘が必要である。					総合評価		良好			

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地高齢者・若者活性化センター

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 高齢者・若者活性化センター利用者		【施設概要】高齢者・若者活性化センター(南大門) ・平成3年11月オープンです。 ・展示販売所、研修室等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の展示販売に関するを行いました。 ・都市・農村交流、イベント開催・参加、高齢者の生きがい創出・社会参加に関するを行います。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が高齢者・若者活性化センターを訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	徳地地域の豊富な農林水産資源ならびに高齢者に蓄積された体験及び知識を活用した特産品の振興及び若者への伝承により、一次産業を中心とした地域活性化を図ることを目的として設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	現在においても、都市農村の交流拠点としての機能を十分に発揮しておりますが、今後は、季節ごとに開催されるイベント企画の工夫や販売品目の幅を広げることで交流拠点機能の向上を図れます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着目した管理運営が行われており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	コストを削減する新たな方法はありますが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
維持管理費用を抑えつつ、成果をあげていることから、現在の状態を維持していくことが重要です。指定管理者である徳地ふるさと資源活用協会は、特産品の展示、販売の実施と様々な研修会の開催を通して、高齢者に蓄積された体験、知識の伝承の場となるよう運営に努めています。また、展示・販売している特産品等は地元のものとしており、高齢者の生産意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民の交流促進にも貢献しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地高齢者・若者活性化センター 指定管理者: 徳地ふるさと資源活用協会

指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防災、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動			☆			3
	利用者満足度	サービス向上			☆			3
		自主事業			☆			3
		改善運動			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保			☆			3
		収支計画との整合性			☆			3
		安定経営			☆			3
		経理状況			☆			3
評点合計			標準		57	加算		57
審査結果	徳地ふるさと資源活用協会は、特産品等の展示、販売の実施と様々な研修会の開催を通して、山口市徳地高齢者・若者活性化センターが高齢者に蓄積された体験、知識の伝承の場となるよう運営に努めている。また展示、販売している特産品等は主に地元のものとしており、高齢者の生産意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民との交流促進にも貢献している。 加えて、特産品試食会や期間限定の農産物販売といった企画のほか、積極的な地域イベント参加により、施設と地域の新たな魅力発信に努めている。		年度評価		A			
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
		A	A	A	A	A		
総評	指定期間を通じて、運営業務、維持管理業務、安全対策、危機管理体制等の業務については、適切な管理運営が実施されている。 積極的にPR活動やイベントを行っており、市内外から多くの来場者があり、都市と農村の交流拠点としての役割を十分果たしている。		総合評価		良好			

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市柚野農産加工販売所

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 柚野農産加工販売所 利用者		【施設の概要】 ・地元農産物を使った加工品の開発、製造及び地元農林産物の販売を目的として平成17年6月25日に開設しました。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者の主な業務】 ・農林産物の加工や販売に関するを行いました。 ・都市・農村交流イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等を行いました。 ・主に豆腐、もち、漬物、惣菜、蕎麦を加工、販売しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が加工販売所を訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	地元農産物の加工販売を目的として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		加工食品の豆腐は人気商品であり、これに続く商品開発や現行商品の販売販路を工夫するなどして、売上増加の余地があります。 また、ルーラルフェスタに代表される都市農村交流イベントへの積極的な参加により、成果向上の余地があります。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		市内に同様の施設はありますが、地域振興の拠点として管理運営が行われており、統合等は困難です。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
特産品の出品者である地域住民の生きがい創出、地域コミュニティの拠点として機能していますが、地域の過疎化・高齢化が著しく出荷品の減少や後継者不足に直面しています。また、冬季(1月・2月)は天候によっては営業が困難な地理的条件もあることから、来場者が減少傾向にあります。 今後は、人気商品であるゆず豆腐に続く加工品の開発や現行商品の販売販路の工夫などにより収入増加に努めるとともに、地域の行事、都市農村交流イベントに積極的に参加し、利用者増を図っていき、後継者の育成に取り組む必要があります。			



『指定管理者モニタリング評価』

設名：山口市柚野農産加工販売所

指定管理者：山里農産加工販売所運営協議会

指定期間：平成28年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の点検を定期的に行い、異常箇所を発見次第、速やかに修繕等を行っており、適正な施設の管理運営が行われた。入退室時の施錠は使用者が行っている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	定期的な清掃をはじめ、施設の美化を適切に行っている。また、施設、機器等の維持管理についても、適切に行われた。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	開館時には、利用者に対応できる人員が配置されており、また、加工販売所職員間のミーティングも行われている。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域の祭りやルールフェスタへの参加などを通じて地域の各種団体や周辺施設との連携、協働が適切に行われている。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情はなかった。また、苦情があった際の体制も整備されている。適切な接遇を行い、利用者に対する案内、説明も適切に行われた。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働関係法令は遵守されている。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	事務室内のみで保管し、利用者の目に触れないように配慮している。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用前に施設の設備点検を行っているとともに、定期的に施設周辺の点検をしており、適切であった。また、随時、井戸の塩素濃度測定も行われている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急連絡網の整備をはじめとして、定期的に異常箇所の有無を点検する等、適切な危機管理体制が取られている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	柚野地域の農産物のPR活動として、ルールフェスタなど都市農村交流イベントに参加した。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	冬場に雪が多い地域であるため開館できないが、それ以外の時期については利用促進がなされた。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	他の施設と連携し、事業を実施した。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	出荷者や利用者の意見を反映し、管理運営が行われている。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	人気商品であるゆず豆腐、蕎麦、その他農産物加工商品の生産により、収入増の取組がなされている。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	おおむね順調である。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	光熱費や燃料費の経費節減により安定的な経営が行われている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	複数名による監査が行われており、適正に処理された。			☆			3
評点合計			標準		54	加算			54	
審査結果	山里農産加工販売所運営協議会は、地域特産品の加工販売を通じ、地域住民の生きがい創出や都市住民との交流拠点として地域振興に貢献している。また、維持管理経費などの経費節減に努め、安定的な運営を行うとともに、朝市の開催、地域団体や周辺施設との連携によりイベントに参加し、特産品のPR活動等に取り組んでいる。今後は、現在の取組を継続していくとともに、新商品の開発や現行の加工品等の販売方法の工夫、販路拡大、自主事業の展開など利用者増加に向けた取組が求められる。			年度評価		A				
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
			A	A	A	-	-			
総評	指定管理期間を通して、適正な施設の管理運営が行われている。地域農産物の加工・販売や朝市の開催、様々なイベントに参加し、地域住民の生きがいの創出や地域活性化の一翼を担っている。都市と農村の交流を図り、お互いの地域の魅力と情報を共有する拠点施設として地域振興に貢献している。また、人気商品の販売による収入増の促進や維持管理経費節減の取組により安定的な経営が行われた。山間部で地域の過疎化、高齢化が著しく、条件不利地のため、今後も現在の取組を維持していくとともに、新商品の開発、販売の拡大、後継者の育成が求められる。			総合評価		良好				

## 事務事業評価報告書

施設名: 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 山口市徳地農業公社 認定就農者		当該施設で、新規就農希望者(認定就農者)を対象に栽培に必要な技術等を習得するための実践的な栽培研修を行いました。管理運営については、山口市徳地農業公社を指定管理者としています。 【施設概要】 敷地面積: 8,014㎡ 管理棟 木造2階建 栽培ハウス(イチゴ) 2棟 栽培ハウス(ホウレン草) 2棟 育苗ハウス 2棟 栽培ほ場 2,000㎡	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
当該施設で研修を行った新規就農者が地域の中心的担い手農家として活躍しています。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	多様な担い手の育成・支援	
事業開始背景等	若い農業者の確保・育成と定住を目的に平成12年に設置した施設であり、目的達成のため施設の適切な管理・運営を図る必要があります。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		施設の設置目的に従い新規就農を希望する研修生を継続して受け入れ、研修終了後就農させることで、新規就農者の増加を図ることができます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		対象及び目的等が限定されており、類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		ありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設設置目的に沿った管理運営により、当該施設で研修を行った研修生は地域の中心的担い手として活躍しています。しかしながら、農業を取り巻く環境の変化に伴い、新規就農希望者が農業経営を開始するために必要な技術や知識を習得する方法も多様化しており、当該施設の管理運営のみによる若い農業者の確保・育成を推進することが困難となってきました。今後は状況に応じて、事業の対象や意図を見直し、施設の管理運営方法を検討する必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 指定管理者: 公益社団法人山口市徳地農業公社 指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点			
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)				
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	運営業務に支障を来すことのないように施設・設備等の定期的な点検や破損箇所の修繕が行われており、運営上の問題が発生した場合でも、市への報告を含めた迅速な対応によって、適正な施設の運営が実施された。				☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	施設内並びに施設周辺の環境は衛生的に保たれており、設備や機械類の維持管理においても適正に実施されている。				☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	研修生の指導等に対応できる人員が配置されている。また、JA山口県の講師を招聘して、農作業のオペレーターに対し、指導に必要な作業の技術講習や注意事項の受講、栽培作物の研修によって、指導員のスキルアップが図られている。				☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	徳地フェスティバルをはじめとした様々な行事への参加や市の学校給食地産地消プログラム事業に基づき、ホウレンソウを給食センターに納入することによって、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われている。				☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働関係法令は遵守されている。				☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例や規則等が遵守され、適切に対応されている。				☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適切な管理に努められている。				☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	農作業等の実施前には、作業内容における注意事項の確認並びに作業に対する安全の監督体制が徹底されている。				☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	農業用機械、資材及び薬品等は施設できる格納庫で適切に管理されている。また、緊急連絡網等による危機管理体制も徹底されている。				☆			3
	利用者のサービス向上への取り組み	設置目的の達成	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	JA山口県や農林事務所などの関係機関への積極的な情報提供が行われている。また、チラシ等を作成し独自の情報発信活動にも努めている。				☆		
利用者満足度		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	農場の視察、見学者のニーズに応じた施設の有効活用を実現するために、意見や要望を調査し、利用促進につなげるため、検討されている。				☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	やまのいも等の地域特産物の振興に関する事業やイチゴ等の生産技術の普及に関する普及啓発の自主事業が積極的に実施されている。				☆			3
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。	農家への技術指導等の各種支援について、農業知識、農作業向上のため指導を行うなど受託事業は適切に実施された。				☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	本施設の利用者、卒業生及び関係機関の感想・意見を聴取し、効率的な研修や運営が実施できるよう業務改善の検討を行っている。				☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	イベント等での試食会による普及啓発や施設で生産した収穫物の販売を行い、収入増加のための取組がなされた。				☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	効率的な運営により、概ね収支計画と整合した収支状況となっている。				☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	光熱費や燃料費の節減等により、健全な収支状況となっている。				☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	複数名の監事による定期的な監査が行われており、経理事務は適正に処理されている。				☆			3
評点合計					標準		54	加算		54	
審査結果	公益法人山口市徳地農業公社は、農業経営に必要な技術及び知識の習得支援が行えるように研修生の受入体制を万全とし、施設の維持管理及び適時適切な修繕を行っている。また、地域に実践的な農業知識、栽培技術の普及等を行い、地域農業を持続的に発展させる仕組み作りを適切に実施している。イベントへの参加及び開催により地域との連携も図られており、都市と農村の交流事業を通して地域コミュニティの維持、強化に貢献している。		年度評価				A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目					
総評		A	A	A	A	A	総合評価		良好		
山口市徳地新規就農者技術習得支援施設の指定管理者である公益法人山口市徳地農業公社は、施設の維持管理、新規就農者の研修、受入体制の整備等、指定管理者の業務を適切に実施しているとともに、経営改善に向けた自助努力を行っている。施設の設置目的に沿った自主事業も積極的に進められており、徳地地域の農業振興に貢献している。											

## 事務事業評価報告書

施設名：阿東ふるさと交流促進センター

担当部 阿東総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民等利用者		<input type="checkbox"/> 指定管理者へ運営維持管理業務を委任しました。 <input type="checkbox"/> 指定管理者へ指導助言を行いました。 <input type="checkbox"/> 施設の修繕を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
市民等が農業に触れ合う機会を創出し、農産物への理解を促します。多くの人がふるさと交流促進センターを訪れます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	県農業試験場徳佐寒冷地分場の廃止に伴い、都市農村交流の拠点として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	年間を通じて都市と農村の交流事業を実施することで一定の成果をあげています。今後も地域の特色を生かした交流事業を継続することで、成果向上の余地はあると考えています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設がありますが、農園等の施設利用者の多くは、自宅からの距離が近いことを条件としているため、施設の廃止、統合は適当でないと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
コスト削減余地	コスト削減余地		施設の用途が制限されており、コスト削減が難しいと考えます。
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、施設の維持管理業務を適切に実施しており、また都市農村交流等の事業を通じて地域の活性化に貢献しており、当センターを有効に管理運営しています。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 阿東ふるさと交流促進センター

指定管理者: NPOあとう

指定期間: 平成28年度～令和2年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
	地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。				☆		4
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆		3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆		3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆		3
		体験交流事業	・体験交流事業は適切に実施されたか。				☆	4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆		3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆		3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆		3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆		3
評点合計			標準		60	加算	2	62
審査結果	阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、老朽化した建物であるものの、施設の維持管理業務を適切に実施されている。また、都市農村交流等の事業を通して地域の活性化に貢献され、利用者のサービス向上への取り組みも実施されている。経営状況については、概ね良好の評価とした。		年度評価			A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
総評		A	B	A				-